

福井県公害センター年報

第 9 卷
1 9 7 9

Annual Report
of
The Environmental Pollution Research Center
of Fukui Prefecture

vol. 9
1 9 7 9

福井県公害センター

は　　じ　　め　　に

ここに昭和54年度の年報をお届けする。

54年6月から、大気汚染常時監視のデータ交換システムの運用を福井市と始めるようになって、環境監視の機能は一段と充実した。テレメータシステムによる大気汚染の監視を開始してから5年余を経過し、データが揃うにつれて研究報文の数も増え、内容は幅広く、奥深く解析されたものになってきた。

本県においても著しい環境汚染は、改善の傾向にあるとはいえ、生活排水や都市ごみ、それに交通騒音など、依然として多くの課題が残っている。閉鎖性水域の富栄養化が叫ばれて久しいが、本県の湖沼も例外ではない。48年より行ってきた北潟湖富栄養化関係の調査報告は本編で一応終り、いよいよ来年度には総合的な報告書にまとめあげることになっている。

この年報で御理解頂けるように、私共はフィールドにおける業務を重視し、現場に横たわっている幾多の問題から研究課題を探り出し育て上げてきた。もちろん、ルーチン業務として、具体的な環境行政の展開に必要な正確なデータを、迅速に提供することに努力していることは、今更言うまでもない。私共の日常業務の小さな一つ一つが快適な環境づくりに役立ち、人の幸せにつながることを念じながら、今日も一日頑張っている。終りに本報について、御批判、御教示を賜りたく、心からお願い申し上げる。

昭和55年 8 月

福井県公害センター

所長 岸 彦 平

目 次

1 運営概要

1. 沿 革	3
2. 機 構	3
3. 業務内容	3
4. 人 員	4
5. 業務分担	4
6. 予 算	5
7. 事業実施概要	7
(1) 公害技術会議	7
(2) 公害技術研修	7
(3) 市町村職員技術研修	7
(4) 研究発表	7
(5) 大気汚染防止対策	8
(6) 水質保全対策	51
(7) 施設見学者	63
8. 備品整備状況	63
9. 誌上および学会発表抄録	64

2 研究調査

1. 硫黄酸化物濃度の経年的変化について（第2報）	67
2. 硫黄酸化物のバックグラウンド濃度に関する一考察（第2報）	84
3. 福井・坂井地区の窒素酸化物の分布および濃度変動に関する要因の検討（第2報）	97
4. 福井市街地における二酸化窒素濃度分布調査（第2報）	107
5. オキシダント濃度上昇時の気象条件について（第4報）	119
6. 敦賀市疋田における大気汚染調査	130
7. 大気中の有機物質に関する研究（第2報）	135
8. 浮遊粉じん中の成分調査	151
9. 発生源磁気テープファイルの作成（第2報）	172
10. 大気汚染常時監視オンライン・システムの機能向上について	184
11. 染色工場排水に関する研究（第2報）	
糊料の分析法の検討	194
12. 染色工場排水に関する研究（第3報）	

[illegible]